



# 清瀬の杜

令和5年2月号  
令和5年2月8日  
校長 佐藤 明子

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>



## 日本一のチョーク会社から学ぶ

校長 佐藤 明子

立春が過ぎ、秋に植えた花壇やプランターの球根の芽が出始め、寒さの中にも春の季節を感じる頃になりました。学校では、第1学年が1月22日(日)から新潟県六日町においてスキー教室を、第2学年が2月3日(金)に狭山スキー場においてスキー実習を行いました。冬季スポーツのスキーを満喫するとともに、多くの仲間との交流を深めることができました。また第3学年の生徒たちは、希望の進路の実現をめざして自分と真剣に向き合い、今まさに正念場の時を迎えています。‘十五の春’、夢に向かって清瀬中学校を立派に巣立つことができるように、生徒たちの頑張りにもエールを送ります。

先日、ユニバーサル・デザイン【=年齢や能力、状況などにかかわらず、できるだけ多くの人が使いやすいように、製品や建物・環境をデザインするという考え方】の研修会に参加する機会があり、日本理化学工業株式会社の取組に出会いました。同社は、日本一のシェアを誇るチョーク会社で、偶然にも本校も長年、同社の〈ダストレスチョーク〉を使っています。この〈ダストレスチョーク〉については、研修会の前から、書く側にとっては黒板に滑らかにフィットして書きやすく、見る側にとっては発色が鮮やかで、線や文字が映えて見やすい素晴らしいチョークという印象をもっていました。

同社が、ユニバーサル・デザインの取組として紹介された理由は、製品としてのチョークの秀逸性と、研修会の前は思っていました。しかし今回、それだけではないことを学びました。同社は、従業員の7割が知的障害の人たちで構成されていること、そして従業員である彼らが、「働くことは、幸せ」という幸福をもって就労していることを知りました。

同社が、知的障害者を雇用するきっかけは、1960年、前会長であった故大山泰弘氏が、近隣の特別支援学校より卒業生2名の採用を依頼されたことからでした。当時の社会は、障害者雇用の理解は厳しく、周囲からの様々な声や、今や会社の仕事の主軸になったものの、現在の彼らの仕事ぶりに至るまでの課題は多岐にわたりました。その様子は、『虹色チョーク 働く幸せを実現した町工場の軌跡』(小松成美 著)にも、描かれており、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

彼らの仕事は巧みな職人技です。チョーク一本一本の製造・検品・梱包等を、丁寧に手作業で仕上げて行きます。同社は、重度の知的障害の従業員も就労していますが、全員が、製造ラインで一人で作業ができるよう、話し合い、不具合を修正しながら、個人の技術にしていくとのことでした。

故大山氏は、障害者雇用の先駆者として歩まれましたが、社会と従業員との思いの差に悩んだこともあったと、先の著書にも記されています。そのような時は、上記の人間の幸せを追究することを信念にして、貫いたそうです。私は、この言葉を知ったとき、障害がある、ないにかかわらず、すべての人間の営みに通じるものと感じました。そして特に、子供の自己有用感、自己肯定感を高めていくことを担う大人には、「人の役に立つこと」「人に必要とされること」を意識して子供に接し、共に育んでいく必要があるとも思いました。日本理化学工業の取組に出会い、人の幸福を主眼にした行動の大切さを実感しました。

本校は、昭和29年度以来、清瀬市立中学校で唯一の特別支援学級を設置する学校として、行事を中心とした生徒同士の交流や、個のニーズに応じた教科学習における共同学習を進めています。また、令和2年度からは特別支援教室サポートルームも開室し、特性に応じた合理的配慮のもとに教育活動を展開しています。これまでも障害がある、ないにかかわらず、多様で複雑化した社会に生きる子供たちが、学びやすい学校づくりに努めてきましたが、改めて広い視点から『ユニバーサル・デザインを意識した教育』を実行していくとともに、一人一人の子供が幸福感を得ることができる学校生活とはどのようなことなのかを、教職員と生徒たちと一緒に探り、その時に最善の方策で実践する日々を邁進していきたいと思う限りです。

人間の究極の幸せは、

- 1つは、愛されること
- 2つは、褒められること
- 3つは、人の役に立つこと
- 4つは、人に必要とされること

福祉施設で大事に面倒を見てもらうことが幸せなのではなく、働いて役に立つこそが、人間を幸せにするのです。

この巻頭言の文字は、視覚に優しい『UD デジタル教科書 体NR』を使用しています。

◆◆◆ 2月の生活目標 ◆◆◆

「健康第一」頑張り三年生！寒さに負けずに！日々の生活を充実させよう！

## 2月の主な予定

日	曜	主な行事等	SC
1	水		
2	木		○
3	金	校外学習(2年)	○
4	土		
5	日		
6	月	がん教育講演会(1年)	
7	火		
8	水	市教育研究会(給食なし)	
9	木		○
10	金	私立高校入試(3年)	○
11	土(祝)	建国記念の日	
12	日		
13	月		
14	火	劇と音楽の会公開練習(1組)、安全指導日 都立学校美術展【都美術館】始(~19日) PTA評議員会	
15	水		
16	木	劇と音楽の会リハーサル(1組)	○
17	金	劇と音楽の会【清瀬市けやきホール】(1組)	○
18	土		
19	日	都立学校美術展終	
20	月		
21	火	学年末考査始(1・2年)、新入学生体験(小6年) 都立高校入試(給食なし)(3年)	
22	水	学年末考査始(3年)	
23	木(祝)	天皇誕生日	
24	金	学年末考査終	○
25	土		
26	日		
27	月	避難訓練	
28	火		

※SC—スクールカウンセラー来校日

- \* 今後、感染状況等により、予定が変更することがあります。変更した際は、お知らせします。
- \* 学年や学級による行事等の詳細については、各担当からのお知らせにてご確認ください。

### 1月14日(土)授業公開日 参観ありがとうございました

1~3校時まで公開いたしました。  
40名の方に参観していただきました。  
お寒中、来校いただきありがとうございました。

引き続き、感染症の状況を踏まえ学校公開日を設定してまいります。

生徒たちの頑張りを折に触れて参観いただければ幸いです。



### 清瀬中学校のSDGsアクション

1月28日(土)、アミューホールにて「命の教育フォーラム」が開催され、本校生徒会役員5名が参加しました。

今年度は、本校が当番校として「中学校5校生徒会交流会」を企画・運営しました。テーマ1は、「SDGs スクールアクション」、テーマ2は「中学生が中心となって発信する地域連携」とし、11月より、オンラインミーティングを重ね、当日を迎えました。

本校は、進行中の「花の学び舎プロジェクト」を中心に、清瀬中の生徒が地域と連携することの大切さやボランティア活動の有効性について意見発表をしました。

引き続き、様々なことに挑戦していきます。地域の皆様には、今後も清瀬中の活動にエールをお願いします。

2月6日(月)は、第1学年を対象に「がん教育講演会」を実施しました。がん治療の経験がある都内中学校長から、治療の経験談や闘病生活を通じて感じたこと、がん患者への理解と配慮、医療従事者への感謝の気持ち、健康と命の大切さに対する認識を深める、お話をいただきました。

コロナ禍にあって、健康について考えることも多いと思います。自分も他者の生命を大切にする行動を続けていきましょう。

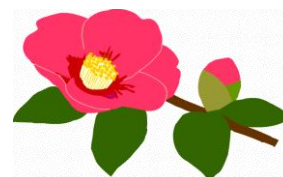


### ◆◆◆ 2月の学校公開の予定 ◆◆◆

◆ 劇と音楽の会公開練習(全校保護者対象)—14日(火)1・2校時 体育館・視聴覚室等にて本番は、清瀬市けやきホールで実施しますが、会場の関係から生徒のみの参加形態となりました。

1組の生徒たちが、練習を積み上げてきた様子をご覧いただきたく、ご案内いたします。

- \* 感染症対策のため、参観は各ご家庭1名までとして、実施します。
- \* 来校時は、安全管理のため、「マスクの着用」「名札の着用」をお願いします。
- \* 学校での参観は上履きおよび靴入れをご持参ください。
- \* 各会場に受付を設置しますので、来校された際には、ご記入の協力をお願いします。



ご不明な点につきましては、お手数ですが、副校長 森元(042-493-6311)までお電話にて、ご連絡ください。